

事業所名	社会福祉法人葛城市社会福祉協議会 放課後等デイサービス		公表日	令和7年3月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・部屋は広くはないが、施設内の他の部屋を使用することができ、活動ごとに過ごしやすい工夫している。	・個人支援にあたっては、スペース不足と感じられる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・必要に応じて指定基準以上の人員配置を行い、人員の不足時は他部署からのフォロー体制が確保できる。	・定員を超えるニーズに対しては職員不足となる場合がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・施設内が床の段差もほとんどなく、バリアフリーの設定になっている。子ども一人ひとりに対して有効な視覚支援を行えるよう今後も取り組んでいきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・定期的に清掃を行っています。 ・活動に合わせ、レイアウトを変更して活動しやすいように工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・クールダウンしたり、落ち着いて過ごせる空間を作るようパーテーションや室内用テントなどアイテムを用意している。 ・体育館や、創作室、生活介護等の協力が得られる。	・一人ひとりの子ども達が落ち着ける室内空間を今後も工夫し、安心できる居場所づくりを考えていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・職員で話し合い、共有できるようにしている。 ・くり返し計画を練り、全員で振り返りをしている。	・事業所内で話し合いをして、より良い業務ができるよう努めていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に1回の自己評価結果の公表前に保護者にアンケートを行い、ご家族のご意見を元に職員間で認識共有、改善を図るようにしている。改善点はホームページ上に自己評価結果表を公表し、伝えられるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・職員会議で子ども達の支援に対する悩みや疑問、業務に関する不安などを出し合い、話し合いができるようにしている。 ・気になることを上司に聞くことができる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	現時点では、第三者委員会などの外部機関とつながりがない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法定研修、BCP感染症対策及び災害発生時対応訓練の他、専門的な総合研修を実施している。 ・外部での研修については、報告で職員全員に共有される。内部研修計画に基づいて様々な研修計画を実施して取り組めた。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・令和6年度からの取り組みで、職員には周知している。 ・3月末にホームページ内にて公表を予定している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・利用契約時の聞き取り面接で、子ども一人ひとりの発達や成育歴、生活環境、ご家族のニーズなどを丁寧に聞き取り、アセスメントの作成を行っている。アセスメントを元に個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	面談で保護者に説明し、同意を得た後で全職員へ周知し、必要に応じて職員会議でも伝えるようにしている。 ・全職員で意見や気づきを出し合い、話し合いを行っている。	・職員がしっかりと理解して支援ができるような伝え方や作成方法を工夫していきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・モニタリング実施前に職員間で話し合う機会を作り、共通認識、理解を得ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・「フェイスシート」を使った保護者からの聞き取りを基にしたアセスメント、日々の記録を行い、子どもの発達状況やその日の様子分かるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・子ども達が育つ力をつける内容とそれを実践する為に必要な留意点を子ども一人ひとりの発達状況やご家族の状況、応じて作成している。	・個別支援計画作成の研修を受け、今後も勉強しながら多角的な視点で作成できるようにしたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・年間計画と月間の予定は職員間で話し合いを行い、プログラム内容を決めている。	・職員間の連携を今後もしっかりと図っていきたい。

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・子ども達楽しんで参加できるよう考えられている。また、同じプログラムでも利用する子ども達の顔ぶれによって内容を変えるなど工夫されている。 ・運動、音楽、感覚、造形に分けて活動内容を決定している。各曜日で全ての活動を毎月経験できるよう内容を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・毎日のプログラムに集団療育と個別療育が組み込まれているので個別支援計画に盛り込むようにしている。	・この項目への視点は優先順位が低くなりがちなので、個別療育も集団療育もしっかりと取り組めるよう支援計画の作成をしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎朝の朝礼にて、利用児童や職員の出勤者の確認、送迎の確認、その日の活動の留意点など確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・勤務の都合上支援終了後に実施できないため、振り返りや支援内容についての話し合いは、翌日の朝礼時に行なうようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎日その日の利用児全員の記録をきちんととり、翌日以降に職員全員が閲覧し把握している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・概ね半年に1回、個別支援計画の見直しのモニタリングを行い、全職員で確認を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・複数組合わせた活動を日々行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・利用されている方に合わせた支援が出来るよう工夫しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて連携を取りながら支援を行っています。 ・今後も丁寧な対応に努めたい。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・随時対応を行っています。 ・今後も丁寧な対応に努めたい。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	利用者本人に関する必要な情報は、現在担当される相談支援事業所の担当相談支援専門員を中心に情報共有を図るよう努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	利用者本人に関する必要な情報は、現在担当される相談支援事業所の担当相談支援専門員を中心に情報共有を図るよう努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	利用者本人に関する必要な情報は、現在担当される相談支援事業所の担当相談支援専門員を中心に情報共有を図るよう努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・現在実施できていない。	今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	・今年度は参加する機会がなかった。今後は積極的に参加していきたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・定期的な面談を行い、臨時でも進路のことや家庭の事など気になることがあれば面談を行うようにし、できるだけ保護者と話ができるようにしている。 ・手紙、連絡帳、口頭、面談、電話などで行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・現在実施できていない。	今後検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・定期的な面談を行い、臨時でも進路のことや家庭の事など気になることがあれば面談を行うようにし、できるだけ保護者と話ができるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・定期的な面談を行い、臨時でも進路のことや家庭の事など気になることがあれば面談を行うようにし、できるだけ保護者と話ができるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・面談で読み合わせて説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的に面談を行い、臨時でも進路のことや家庭の事など気になることがあれば面談を行うようにし、できるだけ保護者と話ができるようにしている。 ・手紙、連絡帳、口頭、面談、電話などで行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6	・保護者会は設置できていない。	今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・面談や送迎の際に職員の対応の事などで相談があれば職員間で話し合いを行い、対応の改善を行っている。	・今後も丁寧な対応に努めたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・現時点では、通信等の発行が定期的にてできていないため、今後活用を進めていきたい。 ・SNSを使用して、時間外の対応ができるよう連絡体制を整えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・利用契約時に個人情報の取り扱いについて書面を見せながら説明し、「個人情報取り扱い同意書」にサインをいただいている。	・今後も丁寧な対応に努めたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・事務連絡や案内などではできるだけ口頭だけではなく書面でも通知するようにし、周知、理解しやすいよう配慮している。 ・今後も丁寧な対応に努めたい。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・現時点では、地域住民との交流はできていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・定期的に避難訓練を活動に組み込み行っている。その都度反省会もしている。 ・マニュアルを作った際は職員間で周知している。 ・保護者から開示要求があれば応じられるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・業務に必要な訓練を複数考え、職員研修で実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用前の聞き取り面接にて、保護者へ聞き取りを行い、配慮が必要な場合は職員間で周知徹底をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	利用前の聞き取り面接にて、保護者へ聞き取りを行い、配慮が必要な場合は職員間で周知徹底をしている。 ・おやつ提供時は、職員2人以上の目でチェックを行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・職員間で話し合いながらこれからも必要な訓練を考え、実施していきたい。その際の振り返り、反省もしっかりと行いたい。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・定期的に面談を行い、臨時でも進路のことや家庭の事など気になることがあれば面談を行うようにし、できるだけ保護者と話ができるようにしている。	・今後も丁寧な対応に努めたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット報告書を作成した際は、職員間で確認し、必要に応じて対応策を話し合いを実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・委員会を設置し、定期的に話し合っている。指針やマニュアルの見直し、研修の計画・実施を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・定期的に話し合いを行っている。 ・指針やマニュアルの見直し、研修の計画・実施を行っている。		